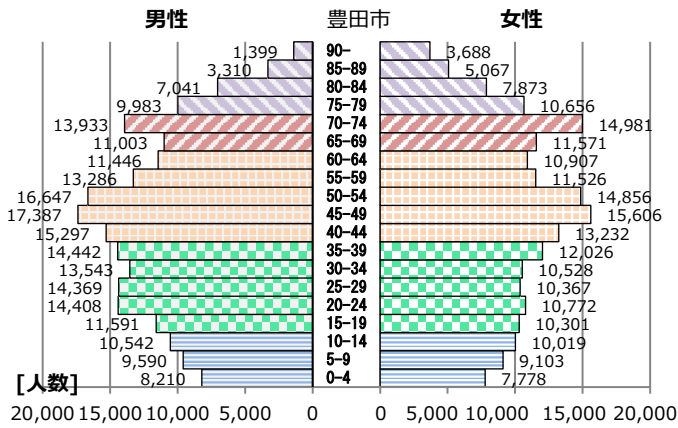


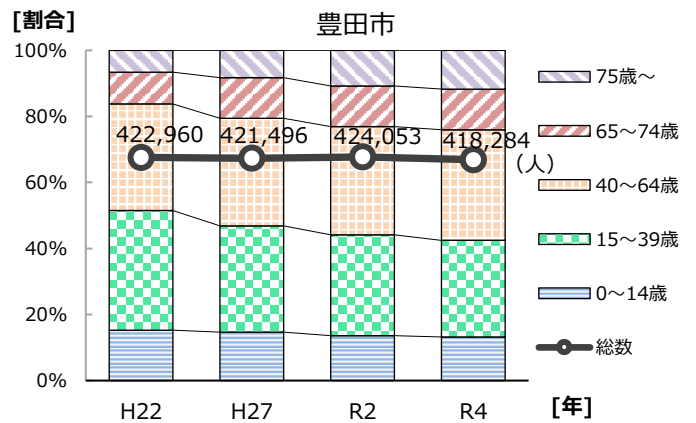
旭中学校区 地域健康カルテ (令和4年度概要版)

● 豊田市の情報 ●

①男女別年齢階級別人口 (令和4年4月1日)



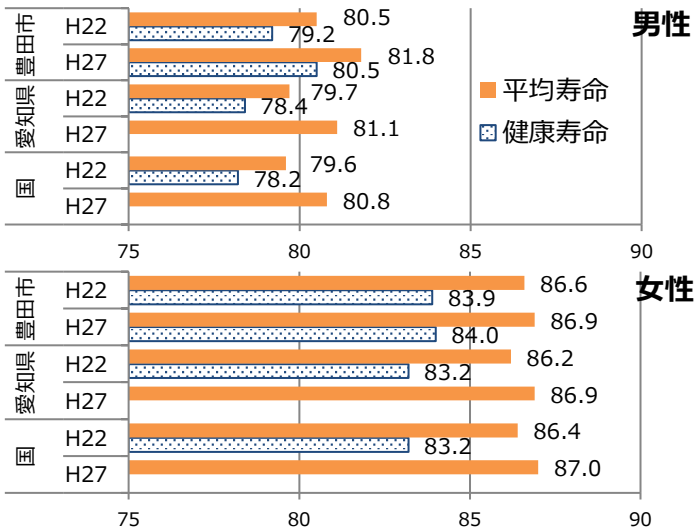
②人口推移 (各年4月1日)



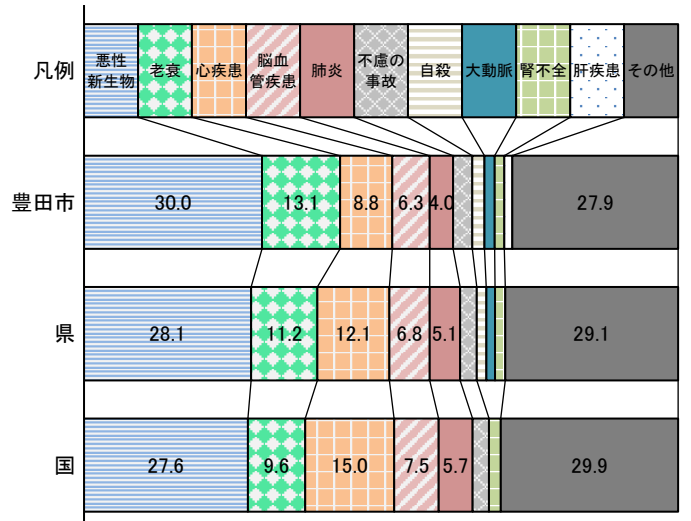
③人口構成 (令和4年4月1日)

・総人口：418,284人 (男性 217,427人、女性 200,857人) ・世帯数：183,262 ・高齢化率：24.0%
 ・要介護認定率：15.4% (令和4年10月1日) ・外国人：17,540人 (ブラジル、ベトナム、中国他)

④平均寿命と健康寿命

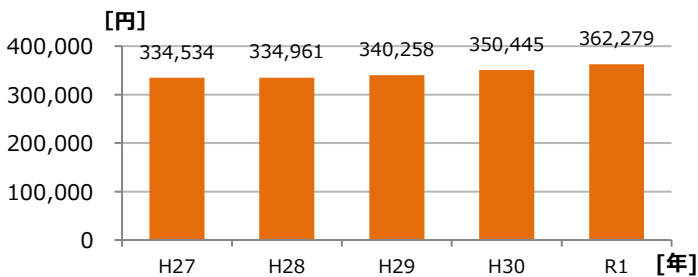


⑤主要死因別順位 (令和2年度)

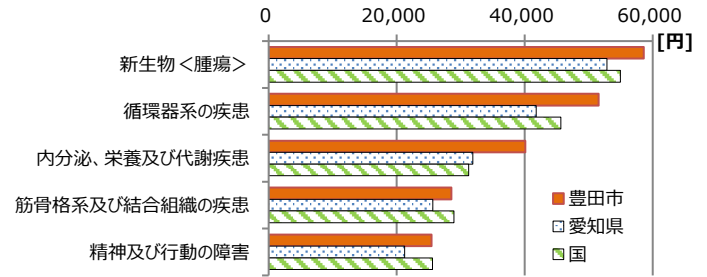


国民健康保険 医療費データ

⑥一人当たり医療費 (豊田市)

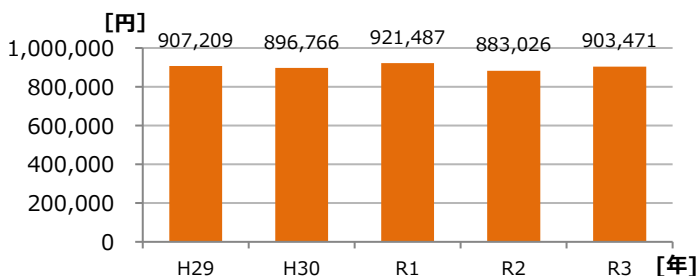


⑦一人当たり医療費疾病別上位5位 (令和3年度)

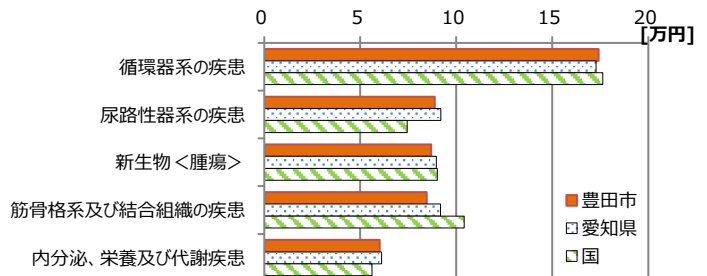


後期高齢者医療制度 医療費データ

⑧一人当たり医療費 (豊田市)

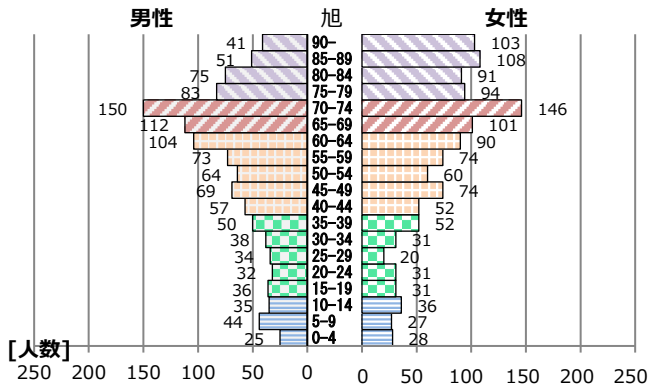


⑨一人当たり医療費疾病別上位5位 (令和3年度)

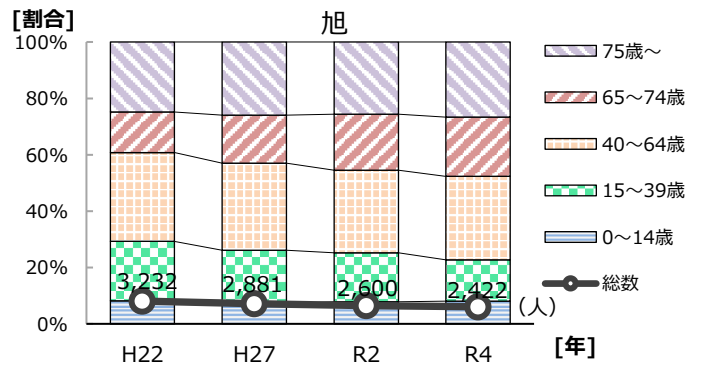


● 旭地区の情報 ●

⑩男女別年齢階級別人口 (令和4年4月1日)



⑪人口推移 (各年4月1日)



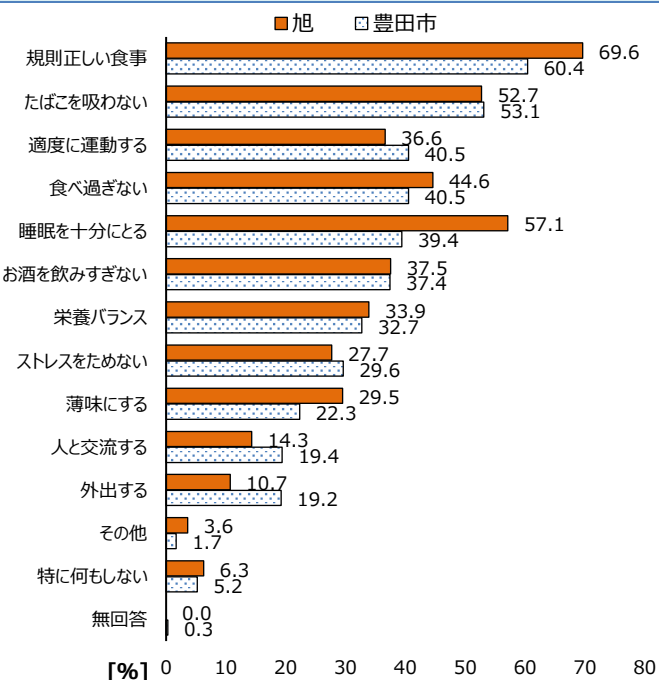
・総人口：2,422人（男性1,173人、女性1,249人） ・世帯数：1,032 ・高齢化率：47.7%
 ・要介護認定率：20%（令和4年10月1日） ・外国人：25人

⑫地域の組織やその活動 ※新型コロナウイルスの影響で、一部中止の事業もあります

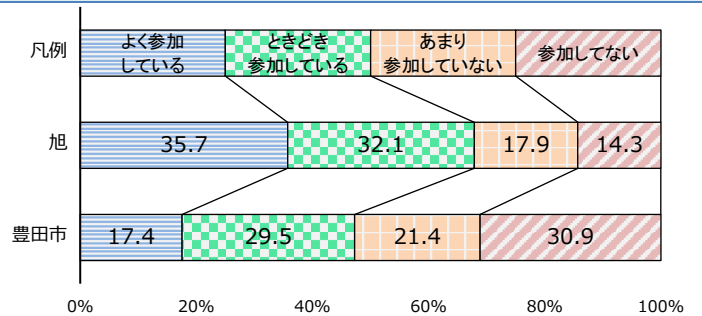
名称	内容等 (令和4年4月)
自治区数	・5自治区
地域課題解決事業	・定住促進事業（定住対策）、あさひ高齢者見守り事業(高齢福祉)、支障木の伐採支援事業(交通安全)、地域資源を活かした「花の里づくり事業」(観光交流)、ツキノワグマ対策事業（環境対策）、旭木の駅プロジェクト推進事業(自治振興)
交流館	・自主グループ5グループ（うち健康・スポーツは0グループ）
ヘルスサポートリーダー	・会員数16人 ・交流館やコミュニティ会議と共催し、健康づくり体操、野菜摂取の啓発、健診受診勧奨等を実施
高齢者クラブ	・4クラブ
ふれあいサロン	・24サロン
元気アップ教室 自主グループ	・自治区：浅野、小渡、笹戸、築羽 ・その他：フレンドリー（サロン）、おどおいでん会（サロン）、喜怒哀楽会（サロン）、メグ友会(新規活動)
その他	・旭地域会議が、令和2年度、第2次旭地区まちづくり計画(前期5か年計画2021~25)を策定。その重点取組の分野別取組として「旭地区健康づくり計画」を作成 ・令和4年度 きくの会が元気アップ教室実施

市民意識調査(令和3年度)

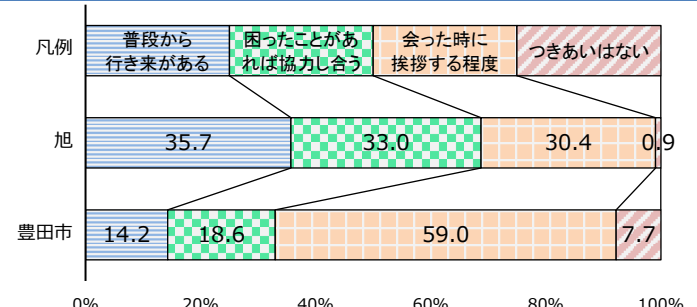
⑬健康づくりの取組内容



⑭自治区・地域活動への参加状況

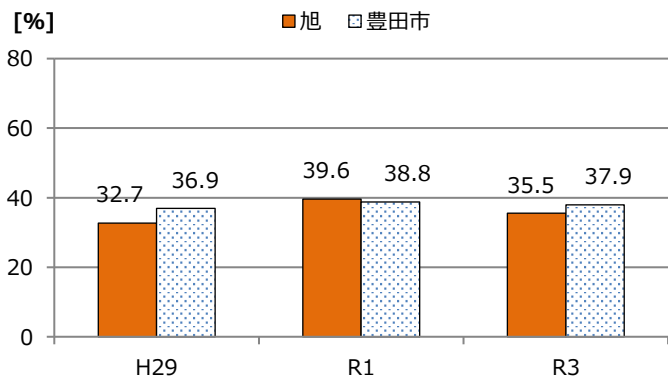


⑮実際の近所づきあい

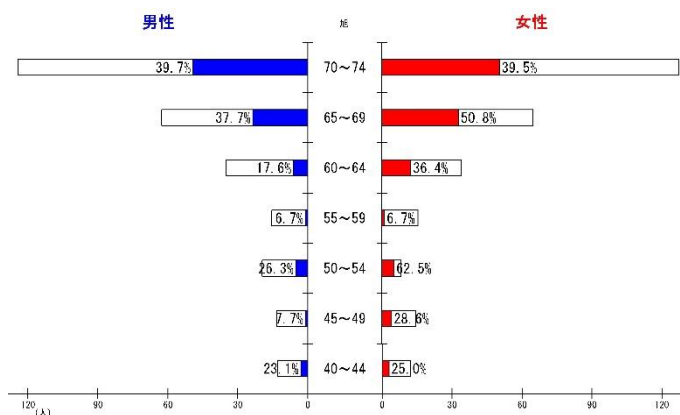


豊田市国民健康保険 特定健康診査(令和3年度)

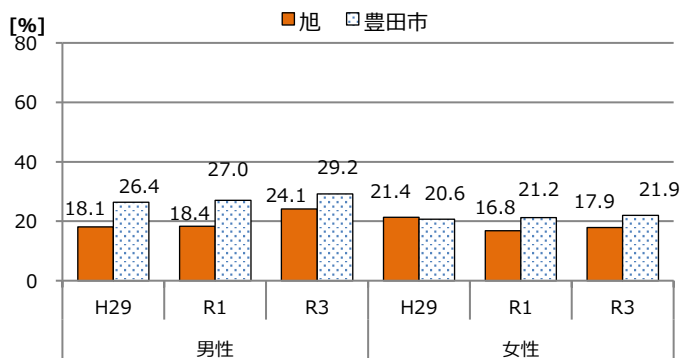
⑯ 健診受診率



⑰ 年齢別受診者数(対象者数 544人,受診者数 193人)

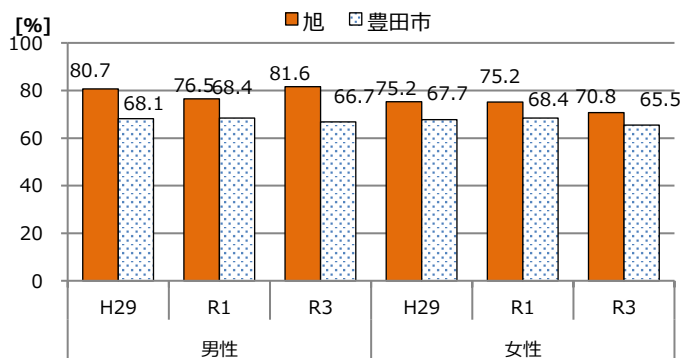


⑱ BMI (25以上)

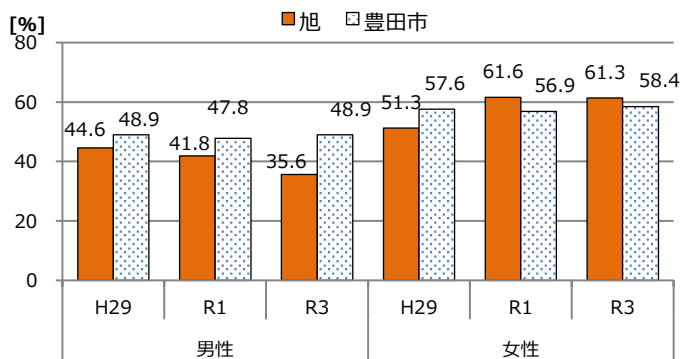


⑲ HbA1c (5.6%以上)

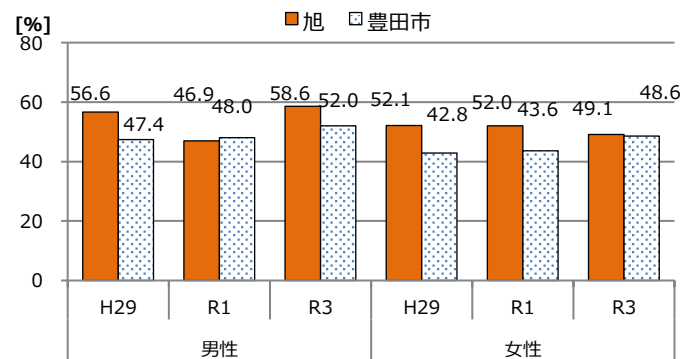
* 糖尿病の指標の検査項目



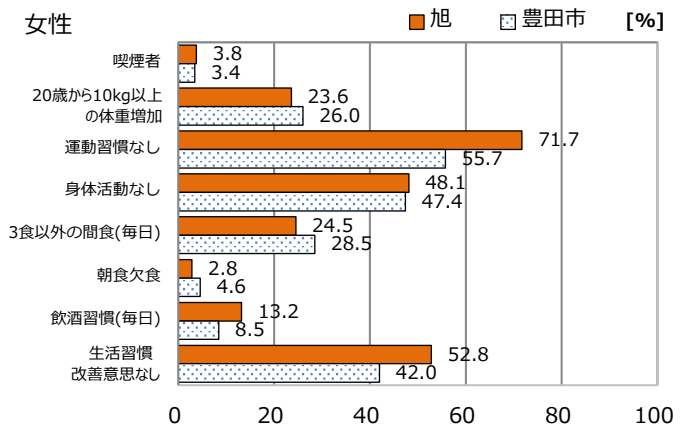
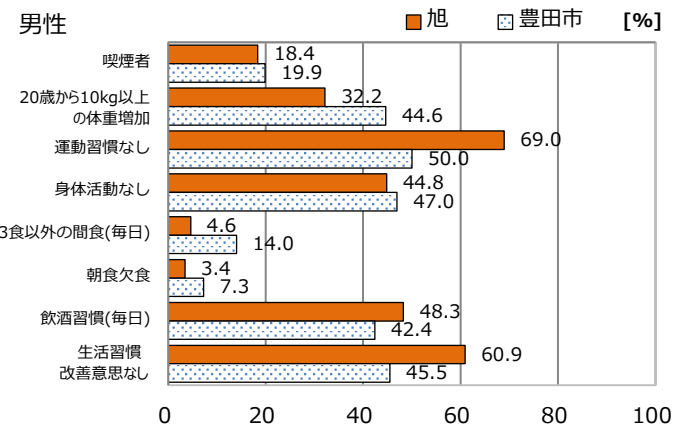
⑳ LDL コレステロール (120mg/dl 以上)



㉑ 収縮期血圧 (130mmHg 以上)



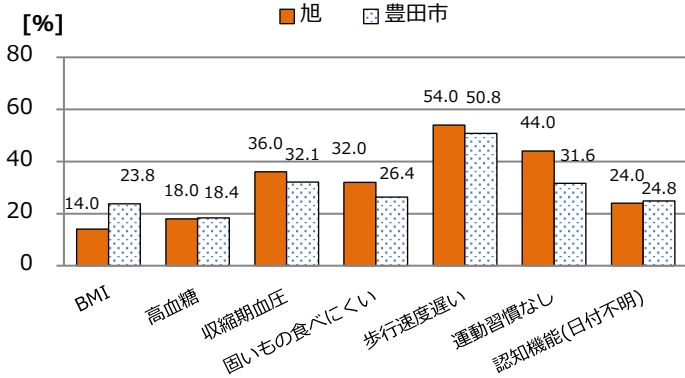
㉒ 問診



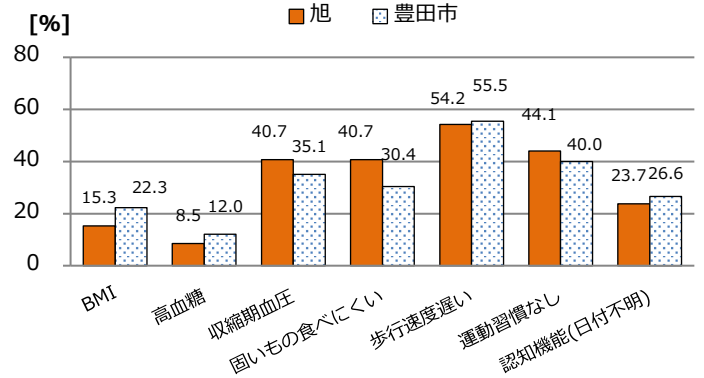
㉓ 国と比較して有意に差がある項目 [年齢調整]

国と比べ高い項目	男性	HbA1c、生活習慣改善意思なし
	女性	生活習慣改善意思なし
国と比べ低い項目	男性	3食以外の間食(毎日)
	女性	-

㉔男性



㉕女性

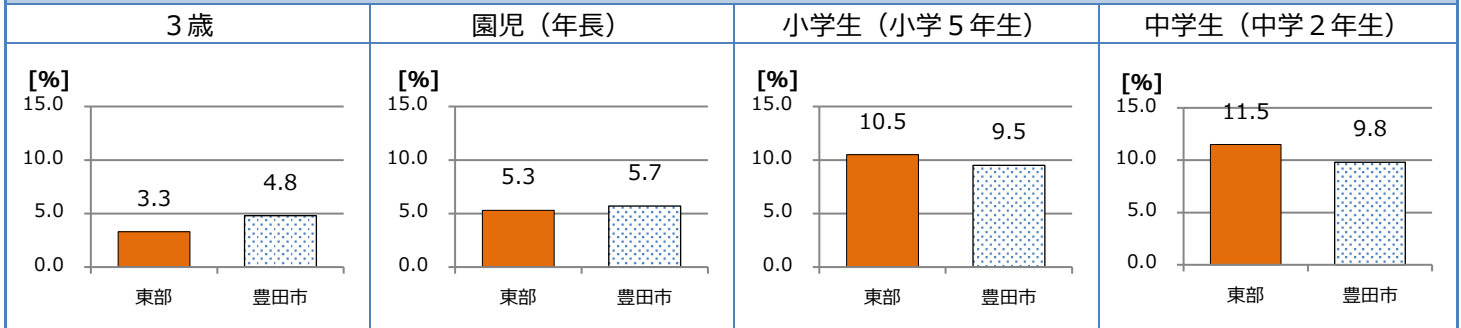


【検査項目の基準】 BMI : 25 以上 高血糖 : HbA1c 6.5%以上 収縮期血圧 : 140mmHg 以上
 【地区の受診者数】 109 人(男性 50 人、女性 59 人)

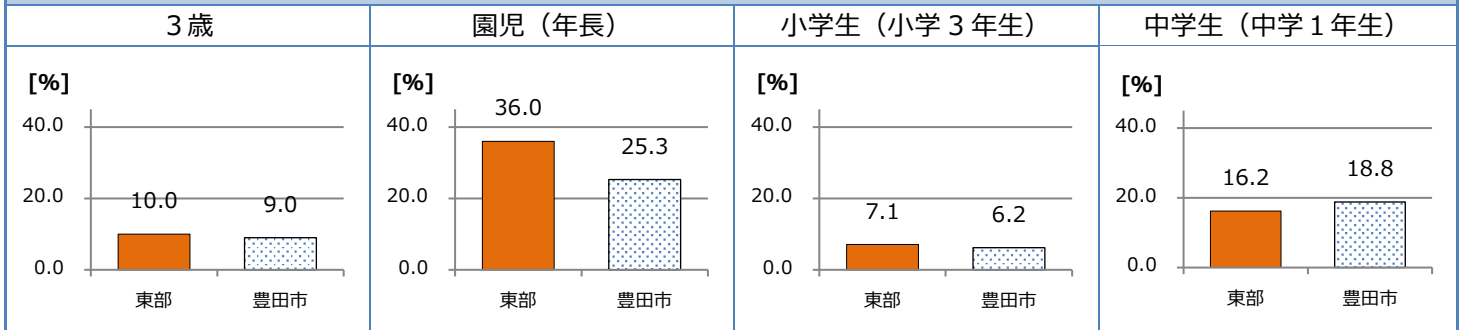
子ども 健康診査(令和3年度)

【東部】 旭・足助・稲武・小原・下山

㉖肥満者率



㉗う歯有者率



データから見る地区の特徴と課題

- ・国民健康保険特定健康診査受診率は市より低い。受診率の増加に向けて健康管理の意識づけや動機づけを継続し、受診勧奨の取組が必要である。
- ・国民健康保険特定健康診査の健診結果では、男女ともに、問診項目の「生活習慣改善意思なし」、また、男性においてはHbA1cの該当者割合が国と比較して有意に高いため、食生活の見直しや運動習慣の定着に向けた動機づけが重要である。
- ・後期高齢者医療制度健康診査の結果では、市と比べて、男女ともに、「収縮期血圧」「固いもの食べにくい」「運動習慣なし」の該当者割合が高い。人口構成割合から前期高齢者の人口が多く、今後更に高齢化が進むと考えられる。フレイル予防のための、運動機能の低下防止や食生活の見直しの取組強化が必要である。
- ・市民意識調査の「自治区・地域活動への参加状況」や「実際の近所づきあい」が市と比べて高い。令和2年度作成の「旭地区健康づくり計画」に基づき、近隣住民とのつながりの強さを活かし、既存の地域活動に健康づくりの要素を取り入れて、地域ぐるみで健康づくりを推進していくことが効果的である。